福岡市議会議員(博多区)

山田ゆみこ

Yamada Yumiko

ワイY(^^)Yワイ 活動レポート

Vol.10
2021
Autumn

発行者:福岡市議会議員／山田ゆみこ
〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1
福岡市庁舎議会棟 福岡市民クラブ議員控室
(TEL) 092-711-4736　(FAX) 092-732-4055

山田ゆみこ市政相談所
〒812-0861 福岡市博多区浦田1-19-10 TAKEビル 1F
(TEL) 092-504-0388　(FAX) 092-982-4736
(MAIL) rikken.yamada@gmail.com

令和3年 9月 福岡市議会 決算特別委員会総会

決算「賛成討論」

令和2年度 一般会計及び特別会計ならびに企業会計の歳入歳出決算の認定に賛成し、財政運営の各種取り組みについて意見を述べました。

財政運営について 市税収入は昨年度比 約33億円減 約3,411億円

新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の発出等により、市の経済状況や市民生活が一変したことから、
市税収入は約3,411億円、昨年度と比べ、約33億円減額となっています。
コロナの終息までは、企業収益減による法人市民税の減少なども含め、注視していく必要があります。
一方、財源確保について、4月の補正時点で活用した財政調整基金は、結果的に約28億円の残高増です。
これを受けて、「財源確保の取り組み」として実施時期を遅らせた各種事業について、
全体計画に大きな遅れを生じさせることがないよう、次年度以降もさらなる財源確保に取り組まれるよう要望しました。

歳出について 4分野への優先的な取り組みを要望

▶生活保障 子育て・健康・福祉	▶地域主権 市民自治・地域コミュニティ・行政改革
▶成長戦略 経済・産業・まちづくり	▶共生戦略 安心安全、多様性、教育

▶子育て・健康・福祉分野について

第一に、新型コロナ感染症対応などに当たる保健所体制を強化すべく、職員の負担軽減とワークライフバランスの推進を図り、感染動向に応じた万全な体制づくりを強く要望しました。

また現状、保育体制は保育所等に保育支援員を配置した園はわずか64か所、執行率は16%にとどまっています。配慮を要する児童の保育については、医療的ケア児保育の充実に加え、障がい児保育制度の見直しにより、障がいの程度が重い児童の受け入れが可能となったものの、軽度・中度など「障がい区分1～3」に対する補助額が十分でないため、加配保育士の確保に苦労をしている実態があります。すべての子どもたちの安心・安全な保育充実のため、保育士の負担軽減および加配保育士の補助額の増額に努めてもらうよう求めました。

加えて、すべての市職員が出産育児休暇・育児休業いずれも希望する日数が取れるよう、環境整備に取り組むとともに、民間企業における男性の育児休業取得促進に向けた環境づくりの推進についても意見を述べました。

ほかにも、各種検診の受診率向上への工夫や、誰もが外出しやすい街づくりのために、景観に合わせたベンチの設置や誘導にも積極的な取り組みを求めました。

▶経済・産業・まちづくり分野について

宿泊税導入初年度の決算にあたり、税収結果や活用状況をわかりやすく報告するとともに、次年度以降の観光振興施策に有効活用することや、明確なルールづくりの必要性を訴えました。

また地球温暖化対策として、省エネ住宅の推進に全庁的な取り組みを求め、二酸化炭素排出量が低い次世代自動車を普及させるべく、充電設備や助成の拡充に取り組むべきと意見しました。さらに「食のまち福岡」にふさわしく、食品ロス・廃棄ロスの削減とともに、市内全域の事業者が共通して取り組む消費者への対策、機運醸成につながるような取り組みが大切だと述べました。

コロナ禍における中小・個人事業主の支援策について、国の月次支援金への上乗せや、上限額の引上げなど、休業要請対象外事業者への支援の追加、拡充を要望しました。

ほかにも、魅力ある市内農産物の加工品開発に取り組む農業者への支援や、人口減少と後継者不足の課題を抱える農山漁村地域の活性化についても、「工夫ある支援」を求めました。

▶市民自治、地域コミュニティ、行政改革分野について

地域住民が求める多様な行政ニーズとして、コロナ禍を契機に市行政機関へ行かずとも各種手続きや相談が可能となる仕組みづくりの推進を図るとの意見を述べました。

また、コロナ禍により多くの地域活動や各種事業が中止を余儀なくされました。地域におけるスポーツイベントや交流行事は大切なコミュニティ活動です。様々なスポーツ活動や各種事業が実施できるよう、改めて感染防止対策に関する助言や情報提供をはじめ、開催を可能にするための工夫や代替策の提示などを行うよう、求めました。

▶安心安全、多様性、教育分野について

防災関連について、災害発生時の緊急車両の通行や迅速な避難活動の妨げとなる電柱の倒壊を防ぐため、無電柱化の推進を求めました。

また近年、多発する豪雨被害により、河川の近隣住民からの不安に応え、積極的に護岸の整備や浚渫を進めるとともに、地域の関係者と共働での治水対策にもあたるよう要望しました。なお、土砂災害の危険エリアは高齢化が進む地域が多く、ネットやLINEなどの活用が難しいことが想定されます。そこで、避難指示に際しては従前から活用している放送設備を含め、情報伝達に活用できるような支援などで地域防災力の向上を図るべきと訴えました。

また、市内の火災件数は近年、減少傾向にあるものの、予防行政の重要性を考えた上で、充実した査察体制を構築する必要があると考えます。さらに、激甚化する災害に対応するためも、福岡市消防局の人員や資機材の充実を図るとともに、近隣自治体や関係機関との連携を密にし、福岡都市圏における体制強化に努めることを求めました。

最後に教育分野について現在、福岡市独自の取り組みとして、全公立小中学校35人以下学級が実現しています。しかしながら、加配教員を学級担任に振り変えたため、少人数指導や配慮を要する子どもに関わる教員が配置できず、子どもたちへの影響が出つつあります。一人ひとりの児童生徒に、きめ細かで丁寧な対応を行うために学級数に見合った教員を確保するべきと考え、教職員定数の改善を国へ求めるとともに、市独自での教職員の増員を要望しました。

さらに学校施設のバリアフリー化として、車いすを常時使用する児童生徒が在籍する学校への支援員の配置やエレベーターの設置、特に、移動頻度の高い中学校へのエレベーター整備を早急に検討頂くよう求めました。

以上、コロナ禍により取り組んだ令和2年度のあらゆる施策・事業による経験を活かしつつ、意見、要望について真摯に検討し、今後の市政運営に当たられるよう強く要望しました。

山田ゆみこ PROFILE プロフィール

1986	第1回冬季アジア大会(500m銀メダル) 世界選手権大会(11位) 帝産オート株式会社(実業団入社)
1987	世界選手権大会(7位)
1988	世界選手権大会 (500m金メダル)(1000m銀メダル) (3000m銀メダル)(総合銀メダル)
	カルガリーオリンピック (3000mリレー銀メダル) (500m5位入賞)
1990	第2回冬季アジア大会 (3000mリレー銀メダル) 世界選手権大会 (3000mリレー銀メダル)
4月	選手引退
10月	芝興産株式会社 (実業団コーチ就任) 全日本コーチ就任
2014	訪問看護ステーション ニコニコハート株式会社 立ち上げ又、ボランティア活動の 一環として子供達への スピードスケート指導も行う

ゆめのある **み**らいのために **こ**うどうします